

2026年5月21日

各位

会社名 株式会社 SBI 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 川島 克哉
(コード番号: 8303 東証プライム市場)

「DEALWATCH AWARDS 2025」株式部門の「IPO of the Year」受賞について

株式会社 SBI 新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 川島 克哉、以下「SBI 新生銀行」)は、ロンドン証券取引所グループ(LSEG)の「DealWatch」が主催する「DEALWATCH AWARDS 2025」において、株式部門の「IPO of the Year」を受賞し、2026年5月20日に開催された授賞式にて表彰されましたので、お知らせいたします。

DEALWATCH AWARDS 2025

CELEBRATING THE ACHIEVERS IN JAPAN'S CAPITAL MARKETS

本賞は、2021年12月のSBIグループ入りと2023年9月の上場廃止の後、SBIホールディングス傘下における経営改革および成長戦略の推進を通じて公的資金の完済を果たし、2025年12月には東京証券取引所プライム市場への再上場を実現した点や、次世代金融を担う銘柄としての投資ストーリーを的確に訴求し、総額3,701億円という大規模なIPOを成功裏に完遂した点などが高く評価されたものです。

東京証券取引所プライム市場への上場にあたっては、「顧客中心主義」に基づく成長戦略の継続と、SBIグループの企業生態系がもたらすシナジーについて、国内外の投資家の皆さまと丁寧な対話を重ねてまいりました。本受賞は、そうした取り組みが資本市場から一定の評価を得たものと受け止めております。

SBI 新生銀行は、SBIグループの中核銀行として、「第4のメガバンク構想」を通じた地方創生の実現に向け、地域金融機関との連携を一層進化・深化させるとともに、グループ内外の知見やデジタル生態系を最大限に活用し、「次世代の金融、共に築き切り拓く未来」の実現に引き続き取り組んでまいります。

今後も資本市場との建設的な対話を重ねながら、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えるべく、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

※「DEALWATCH AWARDS」について

DEALWATCH AWARDS は、日本関連の資本市場の育成・拡大に資することを目的に1995年に設けられました。「本邦市場が世界の主要市場としてさらに発展していく」という観点から、発行市場における適正なプライシング、流通市場に移行した後の価格形成、資本市場の発展に資する貢献等が判断基準となっています。

<https://www.lseg.com/ja/data-analytics/products/capital-markets-insight-and-analysis/dealwatch/dealwatch-awards>

以上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部

報道機関のみなさま SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp

株主・投資家のみなさま SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp